

# 平成20年度南区実施プラン期末報告

## 「みんなでみなみパワーアッププラン」

南区では、平成20年度の事務事業の執行にあたり、平成19年4月1日施行の札幌市自治基本条例の趣旨を踏まえ、「平成20年度南区実施プラン」を策定し、取り組みをすすめてきました。

### (1) 地域におけるまちづくりの推進

#### 大学と連携したまちづくりの推進

東海大学と札幌市立大学にまちづくりに関する研究を委託し、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティスペース・カフェ「旧道茶屋」の運営などが実施されています。このほか、地域がまちづくり活動にインターンシップの学生を受け入れたり、学生が地域と協働でイベントを実施する際の調整を行うなど、大学と地域の連携促進に努めました。

東海大学と地域との連携により運営されている旧道茶屋



#### シーニックバイウェイによる南区の魅力づくりの推進

南区では、区内の各種団体とともに、「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」を目指すシーニックバイウェイの取り組みを進めています。平成20年度は、札幌南シーニックバイウェイルート運営代表者会議の検討作業を支援するとともに、構成団体相互の情報共有を図るため、地域の見どころを巡るバスツアーや情報交流会を開催しました。また、シーニックバイウェイ北海道推進協議会に対する「候補ルート」の提案を支援し、南区の魅力を広くアピールしました。



札幌南シーニックバイウェイ  
ルート運営代表者会議



南区歴史スポット  
バスツアー

#### 安全・安心なまちづくりの推進

区と地域が連携した防災・防犯・交通安全等の取り組みとして、「南区防災訓練」を実施したほか、土砂災害を想定した「災害対策本部訓練」を実施し、情報伝達のあり方や住民への的確な避難勧告等について習得し、災害対応能力の向上を図りました。また、事件や事故を未然に防止するために、防犯パトロールの実施や地域における交通安全街頭啓発の支援をしました。



南区防災訓練



交通安全街頭啓発



春の子供見守り運動

#### 地域まちづくり活動への支援強化

南区地域ふれあい事業助成金などを活用し、地域のまちづくり活動に対する助成を行ったほか、関係機関の連携の推進について支援を行いました。また、まちづくりセンターの自主運営を検討している地域において、地域の課題解決に向け地域自らが定めるまちづくりの目標を実現するための具体的な活動等を盛り込んだ計画「地域活動ビジョン」の策定を支援しました。

澄川地域憲章モニュメント除幕式



### (2) 地域の人材の発掘・育成

#### まちづくり活動の新たな担い手の発掘・育成

引き続き町内会加入促進パンフレットを配布して、加入促進に対する支援を行っています。また、区内で活動するまちづくり団体の協力を得て「南区まちづくり参加・入門教室」を実施し、平成20年度は実際に団体の活動に参加する体験・見学会を盛り込み、まちづくり参加のきっかけ作りを行いました。

南区まちづくり参加・入門教室



#### 子育て家庭を支える子育てボランティアの発掘・育成

子育てボランティア講習会を開催し、子育て家庭の現状やボランティア活動の基礎を学び、親子とふれあう機会を提供しました。

また、次世代育成支援事業「子育てサロン」として乳幼児とその親が中学校を訪問し、交流することで、生徒が子育てなどに関心を持つとともに次世代育成支援事業への理解を深めるための場を提供しました。

### (3) 地域と連携した事業の展開

#### 地域美化とみどりのリサイクルの推進

地下鉄真駒内駅周辺にて、連合町内会、中学校などが協働で花植えを実施したほか、地下鉄澄川駅前広場にて、日赤奉仕団などと協働で清掃を実施するなどにより、地域の美化を図りました。

公園の利用促進を目指し、昨年度に引き続き「公園まなびのヒント講座」、「公園冬遊びの達人講座」などを開催しました。また、腐葉土を活用した循環型モデルガーデンを地域住民と協働で制作したほか、「落葉を通じた環境に関する教育授業」などを実施することにより、みどりのリサイクル運動を推進しました。さらに、コミュニティガーデンプラン事業では、藻岩下町内会が地域一体となって花壇を造成しました。



澄川駅前広場清掃



落ち葉の授業



藻岩下第10町内会  
花壇造成

#### 子育て支援と健康な地域づくりの推進

地域住民と大学と協働してウォーキングマップの作成に取り組んでいます。

また、乳幼児健診の未実施を把握し、未受診の家庭には連絡や家庭訪問を行い、受診するよう呼びかけたほか、乳幼児健診でのパネル展示、離乳期講習会・母親教室・チャレンジ虫歯ゼロセミナー・歯っぴいセミナー等での確かな育児情報を提供しました。また、子育てママを対象に料理教室を開催しました。

さらに、各地域において、育児に不安を持つ親に対するグループミーティングを開催し、悩みの共有化と孤立感の軽減を図りました。



ウォーキングマップ  
石山穴の川調査



子育てママの  
料理教室

#### 「雪に負けないサッポロづくり」の推進

区内の13単位町内会を対象に「地域と創る冬みち事業・市民懇談会」を開催し、地域の除雪のあり方について話し合い、身近な雪たい積場を見つけるなどの成果を得ました。冬季には、市民懇談会を行った町内会とその地区の小学校（4校）の児童も参加した除雪機見学会を実施しました。

また、コロバースボトル（滑り止め用の砂を入れたペットボトル）を養護学校もなみ学園分校と協働で2600本作成し区役所等の施設に配置したほか、冬季の通学路の滑り止め対策として、小学校、PTA、地域住民に対し砂まきの励行を呼びかけるとともに、小学生による砂まきも実施し、冬季間の滑り止め対策を支援しました。



地域と創る冬みち事業  
市民懇談会



小学生によるコロバースボトル  
での砂まき

#### 北海道洞爺湖サミットおもてなし運動

北海道洞爺湖サミットの開催に併せ、ごみのない美しい街でお客様をお迎えするため、区内の16団体が、全道一斉ごみ拾い運動「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」に参加して、区内の清掃活動を行いました。

また、サミットの主要テーマの一つである環境問題について職員研修を実施し、環境問題に対する意識高揚を図りました。

### (4) 情報共有の推進

#### 地域への情報の提供と情報共有の支援

広報さっぽろをはじめ、ホームページや掲示板、南区コミュニティエフエム（11月で放送終了）などを利用して、区の取り組みや制度を随時お知らせしました。さらに、情報をわかりやすく提供するため、ホームページのコンテンツ「くま太郎」を活用するなどの工夫をしました。

また、市政の重要課題である「除雪」、「ごみ」について、広報さっぽろ区版等による区民への情報提供を通じて、制度への理解を深めました。

#### 庁内の情報の共有とコミュニケーションの推進

職員を対象に様々な研修を行うことにより、区役所各部の業務への理解を深めるとともに、各部の連携やコミュニケーションの活性化を図りました。また、各課事務分掌や区役所年間行事一覧等を庁内イントラに掲載することにより、情報の共有と庁内の連携を図りました。

(5) 市民の視点に立った職務の遂行




市民自治を推進するために必要な能力の向上
新採用職員等を対象に接遇や業務知識などに関する研修を実施したほか、本庁主管部局が実施する研修に積極的に職員を派遣し、職員の能力向上を図りました。また、庁舎内の案内表示を改善するなど区民が利用しやすい施設の整備にも努めました。
市税及び国民健康保険料の収入率の向上等
市税について、夜間及び休日納付相談や口座振替の促進のほか、厳格な滞納整理を行うことにより、収入率の向上を目指しました。 また、国民健康保険料についても、これまで職員と保険サービス員との連携のもと、訪問・電話催告、窓口等による口座振替の積極的な勧奨、滞納者の財産調査等を行いました。

これらについては、南区実施プラン推進会議を開催し、四半期ごとに進捗状況の管理、見直しを行いながら、区職員がそれぞれの役割を担い取り組みを進めてきました。その結果、多くのものについては目標を達成することができました。

新年度も、引き続き、自治基本条例の趣旨を踏まえ、さらなる取り組みを進めていきたいと考えております。

平成21年(2009年)3月31日

南 区 長 秋 元 克 広


評価	個数
 よくできました	9
 目標どおり	4 9
 もう少し	0

## 取組内容の詳細


### (1) 地域におけるまちづくりの推進

重点取組項目 1： 大学と連携したまちづくりの推進

専門的な学術知識など、大学が有する機能を活用し、地域課題の解決などに取り組んでいきます。

取組結果	評価
<p>地域・大学・行政の連携によりまちづくりを推進するための研究を東海大学に委託しました。研究の一環として、東海大学の学生が社会福祉法人札幌この実会と協力して開設したコミュニティスペース・カフェ「旧道茶屋」では、学生によるカフェ運営のほか、地域のまちづくり拠点として、各種講座やコンサート等が開催されています。</p> <p>南区ユニバーサルデザイン・ウォーキングマップ作成に札幌市立大学教授が参画し、マップのデザイン等で協力を得ています。</p> <p>シーニックバイウェイ制度を活用したまちづくりの研究を札幌市立大学に委託し、南区の地域資源の映像収録や特産品の開発、街並み景観のデザイン等について研究が行われました。</p> <p>東海大学教授の指導によるストックウォーキングを取り入れた南区民ハイキングを真駒内公園で実施しました。</p>	


学生たちがまちづくり活動へ積極的に参加し、地域を活性化させるための取組みを支援します。

取組結果	評価
<p>東海大学の学生が、地域活動へのインターンシップを実施するにあたり、コーディネートを行いました。</p> <p>東海大学の学生が、大学と南沢地区町内会連合会の共催で実施した「ラベンダーまつり」や「ふれあいサロン」等の地域活動に参加するにあたり、コーディネートを行いました。</p> <p>東海大学の学生が、定山溪地区の活性化を目的として企画した「足湯カフェ」の開催にあたり、コーディネートや後援を行いました。</p> <p>札幌市立大学及び札幌市立高等専門学校に PR を行った結果、「芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会」の植栽活動に 9 名の学生が参加しました。</p> <p>芸術の森地区「雪あかりの祭典」の実施に向けて、札幌市立大学と町内会連合会等とのコーディネートを行い、学生が大学構内で実施したイベント「ARTOU」を支援しました。</p> <p>札幌市立大学及び東海大学の学生の提案によって、アートを通して地域を活性化させようと開催した「アート縁日」、「アートカフェ」を支援しました。なお、この「アート縁日」、「アートカフェ」は、定山溪連合町内会が主催する「定山溪ふれあい秋まつり」に協同するイベントとして開催されました。</p>	 学生の参加するまちづくり活動が新たに実現しました




## 重点取組項目 2：シーニックバイウェイによる南区の魅力づくりの推進


南区におけるシーニックバイウェイの取り組みを広くPRするため、各種広報媒体を活用した情報発信を行うとともに、区民等を対象としたフォーラムを開催します。

取組結果	評価
<p>南区シーニックバイウェイ検討協議会の開催結果を紹介するニュースレターを作成し、関係団体及び区民に配布しました。</p> <p>南区タウントークで、シーニックバイウェイをテーマとしてパネルディスカッション等を実施しました。また、南区コミュニティエフエムで、南区タウントークの様子を放送しました。</p> <p>広報さっぽろ7月号で、「シーニックバイウェイ」の特集を組み、これまでの取り組みなどを紹介しました。</p> <p>札幌南シーニックバイウェイルート運営代表者会議のテーマ別部会の開催結果を紹介するニュースレターを作成し、関係団体等に配布しました。</p> <p>区民等を対象とした「雪あかり発表会」の取り組みについて情報発信を行いました。</p>	

区内の各種団体のネットワークを強化しながら、南区の「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」に向けた取り組みを推進します。


取組結果	評価
<p>第6回、第7回札幌市南区シーニックバイウェイ検討協議会を開催し、同会の後継組織として新たに設立された札幌南シーニックバイウェイルート運営代表者会議の検討作業を支援しました。</p> <p>シーニックバイウェイ北海道推進協議会に対する候補ルートの提案(3月)にあたり、これまでの活動実績や今後の活動計画をまとめた提案書類(ルート運営活動計画)の作成を支援しました。</p>	

区内の各種団体との連携により、南区の魅力づくりにつながる統一かつ広域的な取り組みを推進します。


取組結果	評価
<p>札幌市南区シーニックバイウェイ検討協議会の構成団体を対象に、滝野すずらん丘陵公園や南沢ラベンダーまつりなど、区内の花の見どころをめぐるバスツアーを実施し、魅力を再確認するとともに情報の共有化を図りました。</p> <p>札幌南シーニックバイウェイルート運営代表者会議の構成団体を対象に、エドウィン・ダン記念館や旧簾舞通行屋など、区内の歴史スポットをめぐるバスツアーを実施し、南区の歴史について情報の共有化を図りました。</p> <p>冬季の広域的な幻想空間を創出することを目的に、区内の雪あかりの取り組みについてノウハウなどの情報交換を行う「雪あかり発表会」を開催しました。</p>	

## 重点取組項目 3：安全・安心なまちづくりの推進


区役所職員の災害対応力の向上を図るため、新採用職員及び転入職員に対して災害対応マニュアルを配布するとともに研修等を実施します。

取組結果	評価
<p>新採用職員を対象に、災害対策本部が設置されるまでの流れと各自の役割についての研修を実施した。また新採用職員及び異動(転入)者に対し「南区防災ハンドブック」の活用について周知しました。</p> <p>土砂災害につながる気象状況の把握や前兆現象の見極めなど、防災上の基礎知識を習得するために、約35人で勉強会を実施しました。</p> <p>土砂災害を想定した南区災害対策本部の運営訓練を実施し(約40人)、情報伝達のあり方及び住民への的確な避難勧告・指示の発令等について習得し、災害対応能力の向上を図りました。</p> <p>職員が避難所運営訓練に参加して、災害時における収容避難場所の運営方法や避難者への対応の仕方等を習得しました。</p>	


災害時に対応可能な自主防災活動を育成するため、防災リーダー研修の内容を充実します。

取組結果	評価
<p>出前講座を活用して「防災研修会」を開催し（主催：芸術の森地区町内会連合会）、災害時要援護者ガイドラインや火災予防等について学ぶとともに、参加者同士で情報交換を行いました。</p> <p>自主防災活動に取り組んでいる地域団体と行政が、札幌市防犯セミナーに参加することにより連携を深めるとともに防災意識をより充実させました。</p> <p>土砂災害の発生が予想される危険箇所を多数抱える南区の地域特性を踏まえた自主防災組織を育成するために、土砂災害対策をテーマとした学科研修を取り入れた防災リーダー研修（約 100 人）を開催しました。</p>	<p>評価</p> 


区防災訓練の実施にあたり、子供から大人まで幅広い年代層の参加をはたらきかけ、災害時要援護者の移送訓練など、より実践的な訓練を取り入れることで、地域防災力の向上を目指します。

取組結果	評価
<p>藤野地区で実施した区防災訓練には、藤野地区町内会連合会の地域住民のほか藤野小学校の全校児童の約 520 名が参加して、災害時要援護者の避難誘導訓練・発災対応型訓練・収容避難場所自主運営訓練を行い、防災意識及び地域防災力の向上を図りました。</p> <p>連合町内会など地域が実施する防災訓練に併せて、訓練に必要な資材（非常食）等の提供を行いました。</p>	<p>評価</p> 


土砂災害対策モデル事業を通じ、地域住民と連携して土砂災害ハザードマップ作りに取り組み、土砂災害に強い地域づくりを目指します。

取組結果	評価
<p>土砂災害を考えるワークショップを開催し、これまで開催したワークショップの結果を基にハザードマップ及び土砂災害避難マニュアルの作成を行いました。</p> <p>ワークショップで得られた効果的なハザードマップについての意見を具体的に反映させるために、市の関係機関と調整を図りました。</p>	<p>評価</p> 


毎月 7 日（み 7 み）に、青色回転灯を公用車に装着し、地域の防犯パトロールを重点的に実施します。

取組結果	評価
<p>毎月 7 日に区内各地区において防犯パトロールを実施しました。また、スクールゾーン実行委員会の開催に合わせてパトロールを実施しました。</p> <p>1 月に区内全小学校の冬季通学路パトロールを実施したほか、2 月に夜間パトロールを実施しました。</p>	<p>評価</p> 


地域が取り組む交通安全運動を支援するほか、近隣市町と連携した啓発活動を実施します。

取組結果	評価
<p>南区交通安全運動推進委員会と連携して、地域で実施する交通安全街頭啓発の支援を行いました。道路交通法の改正に伴い、地区内で交通安全研修会を開催しました。</p> <p>国道 230 号での交通事故を防止するため、喜茂別町と合同で「交通安全街頭啓発」を中山峠において実施しました。この啓発は、南警察署及び倶知安警察署の協力を得るとともに、南区・喜茂別町の交通安全運動推進委員会、交通安全指導員、交通安全協会等の関係者約 90 名が参加し、通行車両及び運転者に啓発品を配布し、交通事故防止を呼びかけました。</p> <p>飲酒運転の根絶を願い、澄川地区の住民・団体及び警察等と連携した取り組みとして、街頭啓発のほか飲食店を回って飲酒運転防止を呼びかけました。</p> <p>南区交通安全運動推進委員会と連携して、多発する高齢者の交通事故を抑制するために、区内の老人クラブ（5クラブ）の会員を対象に「交通安全教室」を開催しました。</p> <p>南区交通安全運動推進委員会と連携して、幼児を交通事故から守る取り組みとして、区内の幼稚園（20施設）で「交通安全教室」を開催しました。</p> <p>区内の各小学校が開催するスクールゾーン実行委員会において、冬季における児童の交通安全対策について情報を提供するとともに、行政、学校、父兄、地域団体が一体となった交通安全の取り組みについて協力を要請しました。</p> <p>南区交通安全運動推進委員会と連携して、「南区ファイナル啓発」として街頭啓発を行い、通行車両等に交通安全を呼びかけた。また、これに併せて、区内の交通安全実践団体が一同に集まり「冬の交通安全総決起大会」を開催しました。</p> <p>南区交通安全運動推進委員会が主催して、交通安全指導員のメンバーを対象に交通安全に関する研修会を実施しました。</p>	 <p>交通事故発生件数・死者数ともに前年より減少しました</p>

「地域みんなで子どもを見守る南区運動」を引き続き全地区統一テーマとし、地域における活動の拡大と充実に向けて支援を行います。


取組結果	評価
<p>区内各小学校で「南区春の児童見守り運動」を実施し、澄川南小学校では北海道日本ハムファイターズ球団マスコット「B・B」と北海道警察マスコットキャラクター「ほくとくん」が腕章をつけ見守り活動に参加したほか、各小学校でも地域団体と連携して見守り活動を行いました。</p> <p>見守り活動団体からの申請に基づき、パトロール用腕章を交付し、活動の充実を図りました。</p> <p>協力申し出のあった事業所に車両用パトロールステッカーを交付し、活動の充実を図りました。</p> <p>藻岩下地区で展開している、子ども見守り運動と交通安全の路面表示材「山ちゃんシール地区全域貼り付け」について報道機関へ情報提供を行うとともに、関係行政機関とのコーディネートを行いました。</p> <p>南の沢小学校の一斉下校訓練に併せて、「南沢子ども見守る運動」の見守り・パトロールを実施しました。</p> <p>区内の各小学校が開催するスクールゾーン実行委員会において、児童の安全確保策の一つとして、行政、学校、父兄、地域団体が一体となった見守り活動の取り組みについて協力を要請しました。</p> <p>石山地域内の小学生の保護者を対象とする緊急通知メールシステムの構築を支援しました。</p>	

犯罪や事故を未然に防ぐために、行政(区・警察署など)と地域住民や関係機関とで情報を共有する機会を設けるなどして、地域の防犯活動の支援を行います。


取組結果	評価
<p>子どもの安全安心と健全育成をねらいとする石山子供安全会議（グリーンストーン＝子どもが構成員のボランティア組織）の活動を支援しました。</p> <p>防犯に関するパネル展を区民センターホールで開催し、石山地区のグリーンストーン活動を紹介し、犯罪のない安全なまちづくりを広く区民にPRしました。</p> <p>区内各小学校が開催するスクールゾーン実行委員会に区役所、交通安全運動推進委員会、南警察署の各職員が参加して交通事故防止のほか防犯情報を提供しました。</p> <p>南警察署の協力のもと「自転車盗難防止街頭啓発」の実施や「振り込め詐欺防止研修会」の開催を支援しました。</p> <p>区内全小学校の通学路パトロールを学校・PTA・地域住民・除雪業者と合同で実施して、危険箇所等について認識を共有しました。</p> <p>地域における除雪の障害となる違法駐車をなくすために、夜間違法駐車パトロールを実施しました。</p>	

重点取組項目 4 : 地域まちづくり活動への支援強化


区役所やまちづくりセンターを拠点として、元気なまちづくり支援事業を含め各種事業を通じ、地域住民が主体的に取り組むまちづくり活動を支援します。

取組結果	評価
<p>元気なまちづくり支援事業（南区地域ふれあい事業助成金）で、地域で行われるコミュニティ形成に効果のある行事等を支援しました。《10 地区 53 事業》</p> <p>元気なまちづくり支援事業（南区まちづくり活動助成金）で、市民自らが発意・企画し、新たに取り組むまちづくり活動に対して支援しました。《5 団体》</p> <p>澄川地域憲章の普及啓発を目的として駅前広場に地域憲章モニュメントを設置しました。除幕式には、憲章の策定やモニュメントのデザインに関わった地域の小・中学生や住民が参加しました。</p> <p>芸術の森地区クリーンさっぽろ衛生推進委員会を母体とする「不法投棄監視員ボランティア」の発足式を行い、（財）芸術文化財団職員と協力して石山二号線の不法投棄ゴミ一斉撤去活動を実施しました。</p> <p>コミュニティガーデンプランを活用することにより、藤野地区と藻岩下地区で地域住民が造成・管理する花壇づくりを支援しました。</p> <p>エドウィン・ダン記念館運営委員会が、エドウィン・ダン生誕 160 年を記念し企画したミニコンサートを実施するにあたり、コーディネートを行いました。</p> <p>まちづくりの新たな担い手づくりや世代間交流を通じたまちづくりの活性化を図ることを目的に、連合町内会、定山溪観光協会、小中学校、行政のほか、旅館の若手従業員や札幌市立大学学生に新たに参画してもらい、「定山溪郷土（ふるさと）ふれあい事業」を実施しました。</p> <p>芸術の森地区において「まちづくり講座」を開催しました。この講座では、地域レベルのコミュニティのあり方や学校と地域の関わりについて考える講演会、さらに地域活動を効率的に進めるための IT 講習などを行い、改めて身近なまちづくり活動を考える機会を提供しました。</p> <p>簾舞地区クリーンさっぽろ衛生推進協議会で「簾舞ごみゼロクリーン作戦」が策定され、不法投棄の抑止を地域課題と位置づけ、連合町内会と連携し地域住民の「監視隊」を立ち上げることとなりました。この活動を支援するため、監視隊が着用するジャンパー・帽子等の作成を支援しました。</p> <p>市民自治実践のための取り組みとして、地域の事情を良く知る住民が自らまちづくりセンターの運営を行う「まちづくりセンターの地域自主運営化」を、澄川地区と石山地区で実施しました。</p>	 <p>まちづくりセンターの地区自主運営化が2地区で実施しました</p>

地域の各種団体が連携・協力して地域課題などを協議し、解決に取り組む場（まちづくり協議会等）の円滑な運営を支援していきます。

取組結果	評価
<p>芸術の森地区で街づくり推進会議の構成メンバーを見直し、様々な関係団体との連携を図るようしました。</p> <p>まちづくりセンターの自主運営を検討している地域において、検討委員会等の開催やニュースレターの発行により住民への情報提供を支援しました。また、地域の課題解決に向け地域自らが定めるまちづくりの目標及びそれを実現するための具体的な活動等を盛り込んだ計画「地域活動ビジョン」の策定を支援しました。</p>	

庁内各部の連携体制をより一層強化することなどにより、まちづくりセンターの機能強化に努めます。


取組結果	評価
<p>まちづくりセンター所長向けの事務マニュアルを作成するなど関係業務の情報共有に努めました。</p>	




## (2) 地域の人材の発掘・育成

### 重点取組項目 1：まちづくり活動の新たな担い手の発掘・育成


地域のまちづくり活動の担い手である町内会の振興を図るため、加入促進に対する支援を行います。

取組結果	評価
住所からどこの町内会かを検索するシステムを作成し、庁内ホームページに掲載しました。南区コミュニティエフエム（11月で放送終了）で町内会加入促進のCMを放送しました。町内会加入促進パンフレットを単独で戸籍住民課窓口に配置し、希望者に配付しています。	


「南区まちづくり参加・入門教室」を実施し、これまで活動に参加したことのない区民が活動に参加するためのきっかけ作りを行います。

取組結果	評価
まちづくりに関心を持つ市民を対象として「南区まちづくり参加・入門教室」を実施しました。この入門教室では、「講演と意見交換会」、「体験・見学会」、「交流会」を開催しました。	

子どもたちが地域のまちづくり活動に参加する体験を通して、将来のまちづくりの担い手を育成する取り組みを行います。


取組結果	評価
子どもの安全安心と健全育成をねらいとする石山子供安全会議（グリーンストーン＝子どもが構成員のボランティア組織）の活動を支援しました。藤野地区で、子ども達に学校や地域への愛着を深め、郷土愛を育てる目的で実施している「ふるさとふじの子ども会議」をはじめとする子どもと地域の交流事業に対して支援をしました。	

学生たちがまちづくり活動へ積極的に参加し、地域を活性化させるための取組みを支援します。（再掲）


取組結果	評価
東海大学の学生が、地域活動へのインターンシップを実施するにあたり、コーディネートを行いました。東海大学の学生が、大学と南沢地区町内会連合会の共催で実施した「ラベンダーまつり」や「ふれあいサロン」等の地域活動に参加するにあたり、コーディネートを行いました。東海大学の学生が、定山溪地区の活性化を目的として企画した「足湯カフェ」の開催にあたり、コーディネートや後援を行いました。札幌市立大学及び札幌市立高等専門学校の学生にPRを行った結果、「芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会」の植栽活動に9名の学生が参加しました。芸術の森地区「雪あかりの祭典」の実施に向けて、札幌市立大学と町内会連合会等とのコーディネートを行い、学生が大学構内で実施したイベント「ARTOU」を支援しました。札幌市立大学及び東海大学の学生の提案によって、アートを通して地域を活性化させようと開催した「アート縁日」、「アートカフェ」を支援しました。なお、この「アート縁日」、「アートカフェ」は、定山溪連合町内会が主催する「定山溪ふれあい秋まつり」に協同するイベントとして開催されました。	 学生の参加するまちづくり活動が新たに実現しました

### 重点取組項目 2：子育て家庭を支える子育てボランティアの発掘・育成

子育てボランティア講習会や出前講座などを通じ、子育て家庭の現状やボランティア活動の基礎などを学び、親子とふれあう機会を提供します。

取組結果	評価
子育てボランティア講習会を開催し、160名の登録者がありました。	


小・中・高校へ乳幼児とその親が訪問し、交流することで、生徒・学生が子育てなどに関心を持つとともに次世代育成支援事業への理解を深めるための場を提供します。

取組結果	評価
次世代育成支援事業「ふれあいキッズ in 真駒内曙中学校」を実施し、延べ 66 組の親子・146 名(ボランティア含め)が参加しました。	


### (3) 地域と連携した事業の展開

#### 重点取組項目 1：地域美化とみどりのリサイクルの推進


区民と連携し、腐葉土を活用し、宿根草や香りのある草花を主とした循環型モデルガーデンの推進を図るほか、落ち葉のリサイクル出前講座の実施や「落ち葉のボランティアグループ」と共にごみの減量化・資源化を進めるなど、みどりのリサイクル運動を推進していきます。

取組結果	評価
<p>簾舞地区ミソマップ会館や南老人福祉センターなどにおいて、落ち葉のリサイクルの出前講座を実施しました。</p> <p>石山小学校で、宿根草や香りのある草花のモデルガーデンを小学生と地域住民が協働で製作したほか、落ち葉の堆積場を設置しました。</p> <p>区内の公園・街路樹等で発生した剪定枝・枯損木を市民に無料で配布しました。(剪定枝約 15 t、自家用車：62 台)</p> <p>真駒内曙小学校で、「落ち葉を通した環境に関する教育授業」を行いました。</p>	


区民とともに公園の落ち葉で腐葉土づくりを行います。

取組結果	評価
<p>真駒内地区の「落ち葉の会」がエドウィン・ダン記念公園で「カラス」や「ハーブ」の講習会を開催し、堆積してある落ち葉の腐葉土化を促進するための切り替えしを実施しました。</p> <p>真駒内地区の「落ち葉の会」他公園ボランティア登録者がエドウィン・ダン記念公園で公園ボランティアの総会を開催し、それぞれの活動に関わる情報交換を行い、落ち葉の集積と堆積してある落ち葉の腐葉土化を促進するための切り替えしを実施しました。</p>	


地域住民と連携して公園を利用した「公園まなびのヒント講座」「公園冬遊びの達人講座」等を開催し、拡大・充実を図ると共に、プレイリーダーの育成と、地域活動についても支援します。

取組結果	評価
<p>藻岩下公園を考える会「パンダフル」が、藻岩下公園で遊具のパンダのお色直し(塗装直し)を実施したほか、「焼いも会」や「イグルーブづくり」「アイスクリームづくり」を開催しました。</p> <p>「新日本婦人の会」が主宰で、子育てポッチャマ小組の子供たちが樹名板を作成するとともに公園内にある樹木名について学びました。</p>	


地域住民とともに、地下鉄駅前などの清掃及び花植えを行います。

取組結果	評価
<p>地下鉄真駒内駅前及び南区役所周辺の歩道に、連合町内会、中学校、周辺企業等が協働で花植えを実施したほか、日赤澄川分団とともに、澄川駅前広場にて清掃を実施しました。</p> <p>コミュニティガーデンプラン事業として、藻岩下地区の住民が藻岩下シャローム教会付近の階段横の雑草地を、自らの手で土の入替えや自宅で増えた宿根草を株分けして植え付ける等地域一体となって花壇造成を行いました。</p>	 地域との新しい協働の取り組み

歩道利用者の安全・安心のため、自転車利用者へ走行、駐車マナーの啓発を行います。


取組結果	評価
<p>「駐輪マナー」と「セーフティ自転車」の街頭啓発を地下鉄真駒内駅前のほか、自衛隊駅前、澄川駅前で実施しました。(地域住民など延べ 110 名参加し、ポケットティッシュ合計 5,000 個配布)</p> <p>区内の各小学校が開催するスクールゾーン実行委員会において、道路交通法改正に伴う正しい自転車利用・走行について PR を行いました。</p>	

エドウィン・ダン記念館と記念公園との一体利用促進の拡大を引き続き実施していきます。


取組結果	評価
真駒内連合町内会では、エドウィン・ダン記念館の「花壇の美化活動を実施しました。活動は月1~2度、日赤奉仕団、南厚生保護女性会、ごりんクラブ外5老人クラブの方々が参加しました。	

重点取組項目2：子育て支援と健康な地域づくりの推進


地域住民や大学と協働してウォーキングマップを作成することにより、地域の連携を進めるとともに、まちづくりを通じた健康づくりを図ります。

取組結果	評価
地域住民と大学、そして行政によるウォーキングマップ作成実行委員会を開催し、第2回の委員会では石山地区をはじめとする各地区のウォーキングコースの調査を実施しました。第3回、第4回ウォーキングマップ作成実行委員会を開催し、調査結果の報告及びマップのデザイン等について検討しました。第5回ウォーキングマップ作成実行委員会を開催し、ウォーキングコースの選定、掲載する情報について検討しました。	


ごみ減量につながるエコを含めた健康教室などを開催します。

取組結果	評価
母親教室において、食材や資源を無駄にしない調理の説明を行っており、延べ141名が参加しました。	

乳幼児健診、育児教室などを通じて、食育の推進や安心・安全な子育てなどについての的確で細やかな情報の提供を図るとともに、育児不安の早期発見に努めます。


取組結果	評価
生後4ヶ月までの乳児の全戸訪問を実施しているほか、育児に不安のある家庭には、保健師による早期訪問を実施しています。乳幼児健診の未受診を把握し、未受診の家庭には連絡や家庭訪問を行い、受診するよう呼びかけています。乳幼児健診でのパネル展示、離乳期講習会・母親教室・チャレンジむし歯ゼロセミナー・歯っぴいセミナー等での的確な育児情報を提供しています。スキンケアのパンフレットを作成し、フレッシュママ交流会や、乳幼児健診で活用しています。子育てサロンにおいて、歯科衛生士による講話や保健師による健康講話・育児相談を実施しています。トイレトレーニングのパンフレットを新規に作成し、乳幼児健診で活用しています。子育てママの料理教室を開催しました。赤ちゃんとペットとの生活のパンフレット作成し、乳児の全戸訪問で活用しています。予防接種の適切な時期についてミニ研修を実施しました。区内の保育園・幼稚園での子育て支援開放事業の情報を集め、区民への情報提供に活用しました。ノロウイルス感染予防のリーフレットを作成し、乳幼児健診・訪問指導に活用しました。	

虐待の予防を図るため、子育て家庭が孤立しないよう交流の機会を充実させるほか、親支援のあり方の意識を高めるための区民勉強会を行います。


取組結果	評価
地域において育児に不安を持つ親に対するグループミーティングを開催し、悩みの共有化と孤立感の軽減を図りました。臨床心理士を講師として、保護者向け講演会や主任児童委員の勉強会を開催しました。関係機関や地域住民の児童虐待予防に対する意識を高めるため「虐待予防・防止ネットワーク会議」研修会を開催しました。	

### 重点取組項目 3 : 「雪に負けないサッポロづくり」の推進

昨年度までに行った除雪に関する地域懇談会の結果及び過去の検証を踏まえ、引き続き地域の除雪のあり方について協議していきます。


取組結果	評価
<p>除雪に関する懇談会準備のため、依頼予定単位町内会に対し「地域と創る冬みち事業」の説明を行いました。</p> <p>区内の 13 単位町内会を対象に「地域と創る冬みち事業・市民懇談会」を開催し、身近な雪たい積場を見つけるなどの成果を得ました。</p> <p>地域における除雪の障害となる違法駐車をなくすために、夜間違法駐車パトロールを実施しました。</p>	

今年度においても、コロバースボトル(滑り止め用の砂を入れたペットボトル)などの配布を通じて、町内会や学校と協働で行う、冬季間の滑り止め防止策を支援します。


取組結果	評価
<p>もなみ学園分校の授業で、生徒がコロバースボトルを月間 100 本程度、夏季に 800 本程度作成する予定を立て、合計で 1,100 本作成したほか、南土木センターでは、コロバースボトルを合計 1,500 本(追加分を含む)作製し、まちづくりセンター及び区内の小中学校等へ配付しました。</p> <p>区内の各小中学校が開催するスクールゾーン実行委員会において、冬季の通学路の滑り止め対策として、学校、PTA、地域住民に対し砂まきの励行を呼びかけました。</p> <p>区内全小中学校の通学路パトロールを学校・PTA・地域住民・除雪業者と合同で実施して、危険箇所等について認識を共有しました。</p>	 <p>コロバースボトルの需要増加のため追加作成しました</p>

### 重点取組項目 4 : 北海道洞爺湖サミットおもてなし運動


北海道洞爺湖サミット開催に向けて、近隣自治体や区内の各種団体との連携により歓迎事業の実現を図ります。

取組結果	評価
<p>北海道洞爺湖サミットの開催を目前に控え、ごみのない美しい街でお客様をお迎えするため、区内の 16 団体が、全道一斉ごみ拾い運動「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」に参加して、区内の清掃活動を行いました。</p> <p>国道 230 号沿線へのボランティアサポートプログラムを活用した花植え(プランター設置)を実施するとともに、協定の締結に向けて関係機関と調整を行いました。</p> <p>サミットおもてなしの一環として開催された、札幌おもてなしクリーンアップを支援したほか、小金湯から定山溪にかけての清掃活動等を行う「定山溪クリーンツアー」を後援しました。</p> <p>「芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会」が、国道 453 号沿線へのボランティアサポートプログラムを活用した花植えを実施するにあたり、コーディネートを行いました。</p> <p>国道 230 号沿線へのボランティアサポートプログラムを活用した花植えを実施するにあたり、関係機関との調整等を行いました。</p>	 <p>各種団体との連携により予定以上の歓迎事業を実施しました</p>

区民や学校などと協働で、エドウィン・ダン記念公園や定山溪などに花植えなどを行います。


取組結果	評価
<p>ボランティア団体「グリーンエプロン」が、エドウィン・ダン記念公園にサミットに向けたウェルカムガーデンを製作しました。</p> <p>定山溪 3 区町内会が、定山溪まちづくりセンター前にサミットに向けてウェルカムガーデンを製作しました。</p>	

職員の意識高揚を図るとともに、区役所が主体となった歓迎の取り組みを進めます。

取組結果	評価
<p>サミットの主要テーマの一つである環境問題について職員研修を実施し、環境問題に対する意識高揚を図りました。</p> <p>札幌おもてなしクリーンアップ運動の一環として職員清掃ボランティアを実施し、「環境首都・札幌」にふさわしく区役所付近をきれいにして歓迎ムードを高めました。</p>	




各種広報媒体を活用して、北海道洞爺湖サミットに関する情報を提供することにより、区民のサミットに対する意識の醸成を図ります。

取組結果	評価
区役所内にサミット関連のニューズペーパーを掲示するほかに、来庁者にステッカー等を配布することにより、サミットに対する区民の関心を高めました。	


#### (4) 情報共有の推進

重点取組項目 1： 地域への情報の提供と情報共有の支援


区のホームページ、区民センターロビーなどを活用して各種情報を提供します。

取組結果	評価
ホームページを随時更新し、「区役所からのお知らせ」、「まちの話題」、「南区の風景」、「ときどきくま太郎」などの情報提供を行いました。 地下鉄掲示板および区役所ロビーで、「まちの話題」を掲示し情報提供を行いました。 各地域の取り組みをまちづくりセンターのホームページで地域ニュースとして紹介しました。	


必要な情報を正確に、適切な時期に掲載し、より利用しやすいホームページを目指します。

取組結果	評価
「ときどきくま太郎」で、「火災警報機の設置」や「窓口での本人確認の厳格化」など様々な情報を掲載しました。 クマ出没情報で、随時、出没場所等の情報を掲載しました。	


南区コミュニティエフエムなどの媒体を有効に活用し、区の情報をわかりやすくお知らせします。

取組結果	評価
南区コミュニティエフエム（11月で放送終了）において、南区からのお知らせを放送したほか、広報番組「みなみ区情報サロン」で区の取り組みや行事を紹介しました。 地域活動紹介番組「愛らぶサッポロ」を利用して、地域の話題を紹介しました。 広報さっぽろで、区の情報をわかりやすくお知らせしました。	

地域のホームページの運営や情報誌の発行など、地域の主体的な情報発信活動を支援します。


取組結果	評価
南区地域ふれあい事業助成金で各地区の広報誌発行を支援しました。 元気なまちづくり支援事業で地域のホームページの運営やリニューアルを支援しました。	

市政の重要課題である「除雪」、「ごみ」について、広報誌区版等による区民への情報提供を通じて、制度への理解を進めます。


取組結果	評価
広報さっぽろで「ごみ減量」や「除雪」の特集を組み、ごみ減量の必要性と方法及び地域の雪対策について掲載しました。 「ときどきくま太郎」で、「ごみ分別」や「除雪の懇談会」について掲載しました。	

重点取組項目 2： 庁内の情報の共有とコミュニケーションの推進


主に新採用職員を対象とし、各部の業務についての研修を実施します。

取組結果	評価
新規採用職員・転入職員を対象に、市民部事務概要研修を実施しました。 新規採用職員・転入職員を対象に、税務部・土木事務概要研修を2回実施しました。	


採用2・3年目職員を対象とした研修を行い、新採用職員との意見交換の場を設けることにより、若い職員同士の連帯感を育み、各部の連携とコミュニケーションを図ります。

取組結果	評価
職場にも慣れてきた採用2・3年目職員を対象に、それぞれの業務や市民対応にも対応できるコミュニケーション研修を実施しました。 若手職員を中心として「南区パワーアッププロジェクト」を立ち上げ、職員同士で意見交換を行い、市民からよく聞かれるQ&A集を作成しました。	

新たにコミュニケーション研修を実施し、わかりやすい情報提供の能力向上を図るとともに、職場内のコミュニケーションの活性化を目指します。

取組結果	評価
係長職までの職員を対象に、相手の話をよく聞く「傾聴」、適切な「問いかけ」など、職場でのコミュニケーションや市民対応に活用できるスキルを学ぶ「市民自治推進研修」を実施しました。	


庁内イントラを活用し、各課事務分掌を掲載するなど、庁内の連携を図ります。

取組結果	評価
各課事務分掌や庁舎案内ガイドを掲載しました。 「庁舎内ごみ分別方法」を掲載し、ごみ分別について職員が率先して行動することを呼び掛けました。 土木部内に庁内HP運営委員会を立ち上げ、土木部の取り組みを庁内HPに定期的に更新し、情報を発信していきます。	


## (5) 市民の視点に立った職務の遂行

重点取組項目1：市民自治を推進するために必要な能力の向上


転入職員や新採用職員を対象に、区内地域の歴史・風土についての研修を実施します。

取組結果	評価
簾舞地区の旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）等の歴史的建造物の見学会を行い、それぞれの建物や地域にまつわる開拓期からの貴重な写真や遺品を見るなど、歴史や風土を学びました。	

接遇の向上や業務知識を深めるため、各部課単位で勉強会やミーティング等を実施します。

取組結果	評価
新任ケースワーカー（新採用職員）に対する基本的な業務研修を実施したほか、保護課全体研修を実施しました。また、新任面接員、新任就労支援相談員、ケースワーカー等に対する本庁主管部等が開催する専門的な科目研修等を多数の職員が受講することにより、職員の資質向上を図りました。 税務部において、「南区税務部接遇チェックシート」を活用し、接遇の向上を図りました。 健康・子ども課職員マニュアルを作成し、課内に配布しました。今後も職員マニュアルの充実を図っていきます。また、転入職員を対象に、各係業務についての研修を実施しました。 区役所職員を対象に、パワーポイント研修やホームページ作成研修、民間経験者を講師に招き「接遇研修（講話）」を実施しました。 保健福祉部職員を対象に、政策提言サポーター制度を活用した接遇研修を実施しました。	


案内表示などの点検・見直しを行い、利用しやすい環境づくりを目指します。

取組結果	評価
利用者が混乱しないよう区役所の会議室名を分かりやすい名称に変更しました。 保健センター2階情報室入口に看板を設置し、利用者が入室しやすいよう表示工夫をしました。 区役所の授乳室に気軽に安心して利用できるようキャラクターのディスプレイを施しました。	


重点取組項目 2 : 市税及び国民健康保険料の収入率の向上等

【市税】


課税対象の完全な把握と適正な課税事務に努めます。

取組結果	評価
各税目の返戻納税通知書について、転居先等の調査により課税保留の減少に努めました。 固定資産（償却）税に係る未申告者に対し、催告状を発送しました。 償却資産税務署調査及び実地調査を実施しました。 市道民税未申告者に対して申告を依頼しました。	


固定資産の適正な評価に努めます

取組結果	評価
評価に関する係内研修を実施しました。 土地評価（2回）家屋評価（3回）	

市税収入率の向上に努めます。


取組結果	評価
854件、税額214,657千円の差押等を執行しました。（平成21年3月31日現在） 休日納付相談を実施しました。（13回 3月末含む） インターネットによる動産公売実施しました。	

様々な媒体を活用してPRを行い、口座振替を推進します。


取組結果	評価
昨年に引き続き、部内各所にポスターの掲示とチラシを納税相談等窓口・証明窓口に備え付けて周知を図りました。また、口座振替啓発用ポケットティッシュを受付カウンター等に置き来庁者に配布しています。 口座振替PR用懸垂幕及び納期のお知らせ懸垂幕を、適時区役所に掲げました。 南区全職員に対し固定資産税口座振替加入依頼の通知を行いました。 3月末の口座振替加入率 36.61%（前年同期比 +0.28%）	

【国民健康保険料】

新規加入時、窓口納付相談時などの機会を捉えて、口座加入を促進します。

取組結果	評価
国保加入時などに口座振替加入の促進を行った結果、3月末の口座加入率は65.13%となりました。	 加入率が 10区トップ

窓口の短期保険証交付及び外勤督促等により滞納者との折衝機会の確保に努めます。

取組結果	評価
5、8、11、2月に短期保険証の窓口交付を合計1,915件実施しました。 4月から3月の期間に、保険サービス員による滞納世帯等への訪問を42,059件実施した。また、電話催告については職員・保険サービス員を合わせて4,891件実施しました。 4、8、11、2月に休日相談（8月は平日の夜間も）を実施し、合計129世帯と納付折衝しました。	

預貯金等の財産調査などにより、滞納処分等を視野に入れた状況把握に努めます。

取組結果	評価
滞納処分（交付要求）を10件（4,213,910円）実施しました。このうち、12月に229,930円の配当がありました。 再三の催告に応じない世帯について、預貯金・生命保険合計244件の財産調査を実施しました。	